

サーフィン教室

7月12日（水）

例年行われてきたサーフィン教室を今年もプロのサーファーや保護者の方々の協力の下、実施することができました。およそ8年ほど前から始まったというこの活動は、全国でも珍しく、市木小ならではのものであると言えます。

まずはボードの上に腹ばいになった状態で手で漕いで進むパドルングに挑戦し、1年生でもすぐに自力で水面を進む感覚を楽しんでいました。さらには、ボードに立って、うまくバランスをとりながら、まさに「サーフィン」の楽しさを思い切り味わう児童の姿が見られました。

SOSの出し方講座

7月13日（木）

県の「いのちの教育週間」に伴い、市の保健師の協力のもと、自分や友だちの心の状態に気付き、どう対処したらよいかを学びました。全国的に9月は子どもの自殺が最も多いと言われています。まずは自分の心の状態が落ち込んだときは、一人で悩まずに友だちや家族、先生に相談することの大切さを学びました。助けを求めることをためらわずSOSを出すこと、周りに悩んでいる友だちがいたら声をかけてあげることで、大切な命をみんなで守っていきたいと思います。

合同学習会

7月26日（水）

串間市内の全ての学校の6年生、約160名が串間中学校に集まって、中学校の先生方の授業をみんなで体験しました。

他の学校の友だちと交流ができるように、混成のクラスを構成し、体育、数学、英語、美術といった教科の学習に取り組みました。あまり交流のない他の学校の友だちの中でしたが、市木小の6年生は、積極的に手をあげて発言したり、一緒に体を動かしたりして、楽しく過ごしていました。いろいろな人とコミュニケーションをとることの大切さも学べるよい機会になったと思います。

